

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2011～2012年度 国際ロータリー Kalyan Banerjee (カルヤン・パネルジー) 会長テーマ
Reach within to Embrace Humanity こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 杉浦 世志朗
幹事 市川 裕大
会報委員長 吉岡 秀記

第2755回例会プログラム

[当年度=31回目；当月=1週目]

2012年（平成24年）4月2日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……奉仕の理想
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
7. 食事
- 12:45 8. 会長挨拶並びに会長報告
9. スペシャルオリンピックス日本・愛知へ協力金贈呈
……スペシャルオリンピックス日本・愛知
理事長 ^{むらほし ひろし} 村橋 泰志 様
^{なかおか のりふみ}
10. 退会会員挨拶……長岡 令文 会員
11. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
12. 幹事報告
13. 出席報告
14. 委員会報告
15. ニコニコボックス報告
16. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(4/9) ……
花見家族例会（親睦活動委員会）
7:00 商工会議所出発(京都 醍醐寺他)
(4/16) ……
クラブフォーラム（職業奉仕委員会）
※職業表彰 早川様 ^{じどうその} 地頭菌様(デンソー)
玉寄様 (アイシン)
卓話 「技能五輪世界一への挑戦～ダン
トツのものづくりを目指して」
講師 (株)デンソー技術開発センター特殊加工室
特殊加工1課 早川 将悟 様
特殊加工2課 地頭菌朋史 様
(紹介者 鈴木 豊 会員)

13:00 17. 本日のプログラム

卓話 「古地図が語る名古屋商人の活躍」
講師 北見賃金研究所
所長 北見 昌朗 様
(紹介者 嶋津 孝久 会員)

18. 謝辞

19. 点鐘……〈会長〉

20. 閉会宣言

13:30 21. 散会

ビ ジ タ ー

西尾 KIRARA RC 長谷 収一 様
" 太高 純治 様

ゲ ス ト

スペシャルオリンピックス日本・愛知
理事長 村橋 泰志 様
財務委員長 秋重 泉 様

出 席

会員総数 88名 出席免除 27名
出席義務者+免除者の内例会出席者 76名
欠席 6名 出席率 92.11%
前々回(3/19)の修正出席率 100%

会長報告

- 1) ロータリー財団より、加藤英二会員に大口寄付者のクリスタル及びピンバッジがとどきました。



- 2) スペシャルオリンピックス日本・愛知へ協力金を贈呈しました。



委員会報告

●親睦活動委員会

- 1) 再度御確認の連絡です。次週の花見家族例会は朝7時に刈谷商工会議所をバス2台で出発します。そして、7:20に角文さんの駐車場に立ち寄り、北部の方を乗せていきます。おまちがいのないようよろしくお願いいたします。

会長あいさつ

杉浦世志朗



春本番、昨日の日曜日はいろいろな行事が行われました。

開花が遅れていた桜もほころび始め、亀城公園でも屋台が勢ぞろいし花見の人がにぎわい始めました。思い出してみれば、私共の小さいときは、学校の入学式の頃に桜が咲きは

こっていたから、最近では地球の温暖化からか開花が年々早まっていたことに慣れてしまっていたのかも…それはさておきまして

例年、春のお祭りに参加する山車とお囃子が亀城公園

(2)

で披露されました。花見見物の人達や、JRのさわやかウォーキングの人達が足を止めて時代絵巻の山車やお囃子にふれ好評でした。何かと気忙しい現代、ゆったりと時が過ぎる…300余年の伝統の山車とお囃子、古来より日本を代表する花、桜を一度に味わえる素晴らしいひと時だったと思います。

話は変わりますが、午後には「小惑星はやぶさ」プロジェクトチームリーダーの川口教授の講演会があり文化ホールは満席でした。会場でお会いした人も多かったのですが、お話は専門的な内容も在りまたユーモアを交えて話されメディアでは紹介されていない裏話にもふれ1時間半があつという間に過ぎた気が致しました。

先日ロータリークラブでもプラネタリウムではやぶさ帰還を観賞し涙が流れてしまうほど感動しましたが、同じ映像が最後に放映され多くの方が涙していました。

最近、皆が優しくなった！

昨年の東日本大震災以来、日本が変わった、日本人の心が変わった…

そんなふうを感じるのは私だけでしょうか。

退会会員あいさつ



長岡 令文 会員

金婚式のお祝い



高野 基弘 会員

お 祝 い

4月の会員の誕生日…嶋津孝久、馬場理好、杉浦文雄、深谷嘉英、毛受豊、天野櫻子、關淳之会員。

配偶者の誕生日…市川文子（裕士）、池田初枝（憲司）、大音三恵子（祖瑛）、神谷真由美（龍司）、塚本眞知子（幸夫）、橋本貴美（恭典）、加藤真由美（繁則）様。

結婚記念日…高野基弘、原田光二、岡本巧、室殿豊、嶋津孝久、出口達也、長岡令文、神谷強会員。

4月度入会記念日…野村重彦、前田孝司、橋本恭典、平野和一、鈴木光彦、毛受豊、太田宗一郎、今村順、伊藤節夫、天野櫻子、中林久美、關淳之、小澤陽一会員。

卓 話

古地図を手に語る明治名古屋商人

北見 昌朗 様



明治時代の名古屋商人の代表は、ご存じ、豊田佐吉翁である。

佐吉は慶応3年生まれだから、明治の元号と同じ年齢。明治28年に名古屋に出てきて、朝日町1丁目12で糸繰返機の製造販売を行う「豊田代理店伊藤商店」を創業したが、その場所は錦3丁目6（興和本社）の近辺。翌29年に寶（宝）町3丁目66に移転したが、その場所はテレビ塔のあるブロックの南側近辺だと推定される。そこで信じていた伊藤氏が相場で失敗して、佐吉もとばっちりを受けた。豊田商會を創立して、明治30年に武平町3丁目15に移転して、300坪の工場で動力織機の製造販売を始めたが、その場所は東区泉1丁目のトヨタビルの道を隔てて東側。明治32年に井桁商會を設立し、工場も堀内町に移転拡張したが、その場所は現在のミッドランドスクエア近辺。

明治44年には栄生町で3千坪の土地を借り入れて工場（現トヨタテクノミュージアム）を作ったが、それが自動織布工場（豊田紡織の前身）。事業に成功した後に建てた家は、現在ダイキン工業になっている場所。

トヨタ自動車の創業者喜一郎は、佐吉の長男として明治27年湖西市で生まれた。発明狂の佐吉に愛想を尽かした妻「たみ」は、喜一郎を生んで実家に戻ってしまった。喜一郎が3歳の時、佐吉は名古屋に家を構え、再婚した。幼少時の居住地は武平町3丁目15ということになる。

高岳尋常小学校（現東桜小学校）、旧制明倫中学（現県立明和高校 当時と場所が異なり現在の県立商業高校）で学んだ。大正元年、明倫中学の4年生の頃、喜一郎は上級学校への進学を望んだが学資問題に直面していた。建設中だった栄生工場の現場に何度も足を運び「父のこの工場さえうまくいったなら」と祈っていたという。その後東大工学部へと進学した。成人してからの家は白壁だった。

佐吉の良き理解者であり、支援者でもあったのが服部兼三郎だ。兼三郎は、明治27年に名古屋市八百屋町でカ

ネカ服部兼三郎商店を創業し、明治34年に宮町1丁目に移転。日露戦争が始まると大陸進出して、綿糸・綿布の大手にのし上がった。

2人は富沢町4丁目の「花月」で夜を明かすまで呑むことが多かった。第1次大戦後の相場暴落で痛手を受け、大正9年に自殺。その後は総支配人の三輪常次郎が再建に取り組んだ。それが現在の興和。

石田退三は若い頃、この服部兼三郎商店で働いており、自署伝で佐吉との出会いを書き残している。